

## 1. 公共経営履修モデル (国際公共政策学位プログラム・博士前期課程)

国際公共政策学位プログラムでは、人文・社会系学部出身の社会人で、企業人として現場に活かせる知識を学びながら、学部で積み上げた専門知識をさらに深めて修士論文にまとめ、修士の学位を取得することを目指す人を受け入れます。

具体的には、人文・社会系学部を卒業して社会に出て職を有した人が、在職したまま大学院に入学し、ビジネス科学研究群の科目（夜間・土曜開講）を10単位以内、学術院共通専門基盤科目を1単位以上履修し、筑波キャンパスで休業期間などを生かして論文指導科目等を中心に学修し、「修士（国際公共政策）」の学位取得を目指す履修モデルです。東京を勤務地とする者を主たる対象として、企業人として現場に活かせる知識、たとえば経営や法律を学びながら、学部で積み上げた政治学・国際関係分野の専門知識をさらに深めて修士論文にまとめ、修士（国際公共政策）の学位を取得することを目指します。

図書館・情報処理などの施設は、東京キャンパス文京校舎に置かれる大学附属の大塚図書館（文京校舎 B1F）や東京サテライト（文京校舎 4F454）などを利用することができます。また論文指導は、日常的には電子メールや Skype を利用するなどして、学生の負担をできるだけ少なくします。

人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群  
国際公共政策学位プログラム(博士前期課程) 公共経営履修モデル

養成する人材像	国際公共政策に関わる分野に関する専門知識を生かし、理論・実証に関わる論理的思考力・分析力に基づいた高度な研究能力を踏まえ、国内外の政治経済や社会政策上の諸問題、また個別地域や国際関係に関わる諸問題に関し、公共政策へと結びつける観点から問題解決能力・実践的能力を有し、かつ経営学の専門知識および論理的に深く思考する能力やその内容を論理的に構成するための能力も併せ持つ人材。								
修了後の進路	有職者の一部は、博士後期課程への進学や、官公庁・自治体職員、国際機関職員、民間企業、NGO・NPOなどへの転職をすることが考えられる。								
科目区分	1年次				2年次				単 位 得 数
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		
大学院共通科目	研究倫理	1							1
学術院共通専門基盤科目			トップレクチャーⅠ (ビジネス科学研究群開設)	1			トップレクチャーⅡ (ビジネス科学研究群開設)	1	2
基礎科目(研究群共通)	研究法入門	1	修士論文合同演習	1					2
専門基礎科目	国際公共政策論	1							3
	公共政策論A	1							
	政策評価分析	1							
専門科目	経営戦略論 (ビジネス科学研究群開設)	1	技術経営論 (ビジネス科学研究群開設)	1	マーケティングサイエンス (ビジネス科学研究群開設)	1	比較政治学演習B	1	22
	経営組織論 (ビジネス科学研究群開設)	1	組織変革 (ビジネス科学研究群開設)	1	消費者行動 (ビジネス科学研究群開設)	1	日本政治論演習B	1	
	マーケティングリサーチ (ビジネス科学研究群開設)	1	比較政治学演習A	1	公共政策論B	1	国際公共政策リサーチワークショップB	3	
	比較政治学A	1	日本政治論演習A	1	比較政治学B	1			
	現代政策過程分析A	1			現代政策過程分析B	1			
					国際公共政策リサーチワークショップA	3			
修得単位数	10		6		8		6		30
	16				14				
授業科目以外の学修	指導教員による研究指導等		指導教員による研究指導、研究発表会における発表等		指導教員による研究指導、研究発表会における発表等		指導教員による研究指導、研究発表会における発表等		

※数字は単位数を表す。